平成30年2月26日 荒川下流域を対象としたタイムライン(事前防災行動計画)専門部会 ブロック検討会

■タイムライン専門部会(第3回)で把握された主な課題は下記の通り

- TLに基づく防災行動の 具体化
- 想定ハザードの追加

- TLの適用基準の明確化
- T L 適用時の対応状況の 共有方法明確化
- TLの体裁の見直し

### TLを作る

(新たに検討テーマを 追加しTLの防災行動 を拡充する)

### TLを使う

(TLの運用面の 改善を図る)

### TLを学ぶ

(勉強会や訓練を通じ、 TLの理解や運用能力の 向上を図る)

- TLの位置づけが分かりづらい
- TLの展開方法を知りたい

#### ■タイムラインを作る上での課題は下記の通り

No	課題の区分	課題の概要	対応策案
1	TLに基づく 防災行動の 具体化	<ul><li>防災行動項目の具体的な実施部署等を決定し、作業手順を整理</li></ul>	<ul><li>TLに基づく防災行動の具体化は各機関で実施</li><li>荒川下流河川事務所のTL活用事例を紹介 【資料3】</li></ul>
2		<ul><li>■ 関係機関の連絡先の整理</li><li>&gt; 公共交通機関による避難を行うとなった場合にはどこに連絡すれば良いのか整理しておく等</li></ul>	• 整理すべき連絡先について議論し、事務局で連絡 た案を作成し、確認協議 を実施
3	想定ハザードの追加	<ul> <li>荒川本川破堤以外のハザード(利根川、中川、江戸川等の直轄河川や中小河川の氾濫、内水氾濫、土砂災害、高潮等)を考慮したTLが必要</li> </ul>	• 荒川本川破堤以外のハ ザードを考慮したTLの整 理は各機関で実施

#### ■タイムラインを使う上での課題は下記の通り

No	課題の区分	課題の概要	対応策案
1	TLの 適用基準	<ul> <li>TLレベル(目安の時刻)の判断基準を知りたい</li> <li>想定最大規模の降雨をもたらす台風にのみ適用するよう基準を見直す</li> <li>台風の勢力等規模に応じたTLを整理してはどうか</li> <li>台風の進路予測精度に課題があり、レベル(目安の時刻)設定に影響している</li> </ul>	<ul> <li>TL適用基準(案)を整理、 今年度のTL適用判断を 含む適用状況を説明 【資料3】</li> <li>意見交換を行った上で、 適用基準の見直し並びに 規模別TLの整理が可能か どうか検討を実施</li> </ul>
2	TL適用時の 対応状況の 共有方法	• 対応状況の共有方法を明確にすべき	<ul><li>情報共有システムを紹介 【資料4】</li></ul>
3	TLの体裁	<ul><li>表記の仕方が異なるだけで内容が同じような防災行動がある。可能な限り統一し、項目の簡素化が必要</li><li>行動項目が多いため機関毎のTL様式作成をしてはどうか</li></ul>	<ul> <li>TLの体裁修正方針を議論した上で、TLの記載の体裁修正を実施</li> <li>【資料5】</li> </ul>

#### ■タイムラインを使う上での課題は下記の通り

No	課題の区分	課題の概要	対応策案
4	TL適用時の 情報共有内容	<ul> <li>今後のTLレベル設定見通し情報を 提供して欲しい</li> <li>事態の進展につれ、TLレベル(目安 の時刻)は記載 と通知が乖離してく るので、TLレベル(目安の時刻)設定 判断に関わる情報を提供して欲しい</li> </ul>	• 必要とされる情報共有内容について議論し、事務局で見直し案を作成し、 確認協議を実施
5	目安の時刻の 設定	<ul><li>目安の時刻の設定は必要無く、レベルのみで良いのではないか</li></ul>	• 事態の進展の表記方針を 議論した上で、必要に応 じて見直しを図る
6	TLの 適用頻度	<ul><li>頻繁にTLを適用するとそのうち対応 しなくなるのではないか</li></ul>	<ul><li>妥当な適用頻度について 議論した上で、適用基準 の見直しを検討</li></ul>
7	TL適用後の TL見直し	• TLの改善点等の見直しは適用後す ぐに実施すべきではないか	• TLに関わる実施事項の 年間スケジュールを定め、 遅延ない対応を図る
8	勤務時間を 考慮した TLの適用	• 土日祝等執務時間外のTL適用や大幅な目安の時刻進展に配慮した適用を行うべき	<ul><li>適用基準の見直しを検討</li><li>4</li></ul>

#### ■タイムラインを学ぶ上での課題は下記の通り

No	課題の区分	課題の概要	対応策案
1	TLの 位置づけ	<ul><li>TLに記載されたとおりに防災行動 が行われなかった</li></ul>	<ul><li>TLの位置づけを説明 【資料2】</li></ul>
2	TLの 活用方法	<ul><li>自機関内の他部署、地域住民への TLの周知が必要</li></ul>	<ul><li> 荒川下流河川事務所におけるタイムライン活用事例を紹介</li><li>【資料3】</li></ul>
3	TL適用時に 事務局から 提供する情報	• 水位予測情報を提供してほしい	<ul><li>水位予測情報を含めて、 現状想定している事務局 からの提供情報を整理 【資料4】</li></ul>
4	防災行動の参 考となる情報	• ある機関が取り組む防災行動の参 考となる情報について共有してほし い	<ul><li>検討会等の中で参考となる情報を共有する機会を 設ける</li></ul>
5	机上訓練	• 出水期前に机上でのTL訓練を行いたい	<ul><li>当面、検討会等の中で机 上訓練を実施</li></ul>

## 【参考】ヒアリング等で把握された課題

No	区分	課題の概要
1	「学ぶ」	• 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定について、先行する取組(国の避難確保計画の雛形の肉付けの仕方、どこまでの施設を対象とするかの基準等)を共有したい【資料7】
2		• 庁舎が浸水する想定の自治体・機関で、どのような対策や防災行動を行う必要があるのか意見交換したい
3		• 住民の防災行動を定めるタイムラインについて、先行する取組について勉強したい。その上で将来的には、現行の行政用のタイムラインをどのように住民のタイムラインとしていくか検討したい
4	「学ぶ」又 は「作る」	• 他の自治体が避難情報を住民にどのように伝達しているか意見交換し、有益な防 災行動があれば、タイムライン上に記載し共有したい
5		<ul> <li>水位が上昇した際の水門・排水機場等の河川施設の運用について勉強し、それに基づく必要な防災行動について勉強したい。また、それに応じて必要な防災行動を検討したい</li> </ul>
6	「学ぶ」又 は「使う」	<ul> <li>TLレベルと目安の時刻が進展するにつれてTL記載の防災行動と現実が乖離してくるので、TL想定ハザードのシナリオと実際はどれくらい違っている状況なのかがわかる情報提供のあり方について議論したい</li> <li>天候が好転してきた、水位上昇がこれ以上はないなど、状況が安全になってきた方向性の情報提供は頂けないか</li> </ul>
7		<ul><li>・ 荒川下流TLとは異なるが、中川や中小河川、支川の情報提供があると参考になる</li><li>・ 中小河川用のタイムラインを独自で作りたいが、作り方などの勉強会がしたい</li></ul>

## 課題を受けた本日の議事内容

#### ■課題を受け、本日の議事内容は下記の通り

資料名称	内容
資料2	《情報提供》 • TLの位置づけ • TLで想定する気象・水位・雨量等
資料3	《情報提供》 • 本年度のTL適用基準(案) • 本年度のTL適用実態 • 荒川下流河川事務所におけるTL活用事例
資料4	《情報提供》 • TLに記載する事務局からの情報提供 • TL情報共有システム
資料5、6	《グループ討議》 • TLの体裁修正
資料7	《情報提供》 • 今後のTL検討の予定 • Cブロックで実施中の要配慮者利用施設の避難確保計画の策定に向けた取組ほか